

# 国公立大学図書館協力委員会平成 27 年度活動報告

## I 委員会構成及び活動記録等

### I-1 委員長館

平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日 筑波大学

平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日 慶應義塾大学

### I-2 委員館 (\* 常任幹事館)

国立大学 \* 東京大学、\* 筑波大学、京都大学、名古屋大学

公立大学 \* 横浜市立大学、\* 大阪市立大学、首都大学東京、  
名桜大学 (～平成 28 年 3 月)、名古屋市立大学 (平成 28 年 4 月～)

私立大学 \* 慶應義塾大学、\* 早稲田大学、東洋大学、学習院大学、  
福岡大学、立命館大学

### I-3 会議

#### 1 本会議

##### 1) 第 78 回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成 27 年 7 月 24 日 (金)

会 場 京都大学附属図書館

##### 2) 第 79 回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成 27 年 11 月 6 日 (金)

会 場 慶應義塾大学三田キャンパス

#### 2 常任幹事会関係

##### 1) 平成 26 年度第 2 回常任幹事会

期 日 平成 27 年 7 月 24 日 (金)

会 場 京都大学附属図書館

##### 2) 平成 27 年度第 1 回常任幹事会担当者打ち合わせ

期 日 平成 27 年 10 月 16 日 (金)

会 場 慶應義塾大学三田キャンパス

##### 3) 平成 27 年度第 1 回常任幹事会

期 日 平成 27 年 11 月 6 日 (金)

会 場 慶應義塾大学三田キャンパス

##### 4) 平成 27 年度第 2 回常任幹事会担当者打ち合わせ

期 日 平成 28 年 1 月 14 日 (木)

会 場 国立情報学研究所

##### 5) 平成 27 年度第 3 回常任幹事会担当者打ち合わせ

期 日 平成 28 年 3 月 16 日 (水)

会 場 慶應義塾大学三田キャンパス

#### 3 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

1) 第10回

期 日 平成27年7月7日(火)

会 場 国立情報学研究所

2) 第11回

期 日 平成28年2月23日(火)

会 場 国立情報学研究所

4 国立国会図書館関係

1) 第21回国立国会図書館と大学図書館との連絡会

期 日 平成27年10月9日(金)

会 場 国立国会図書館東京本館

2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

期 日 平成27年11月6日(金)

会 場 国立国会図書館東京本館

5 著作権関係

1) 平成27年度第1回大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ合同会議

期 日 平成27年6月24日(水)

会 場 慶應義塾大学三田メディアセンター

2) 出版者著作権管理機構(JCOPY)との懇談会

期 日 平成27年8月12日(水)

会 場 出版者著作権管理機構

3) 平成27年度第1回大学図書館著作権検討委員会ワーキンググループ会議

期 日 平成27年10月21日(水)

会 場 東京大学附属図書館

I-4 事業

1 大学図書館シンポジウム

テーマ 2020年のNACSIS-CAT/ILLを考える

期 日 平成27年11月12日(木) 13:00-17:00【予定】

会 場 パンフィコ横浜(第17回図書館総合展会場)

備 考 日本図書館協会大学図書館部会と共催

2 大学図書館著作権検討委員会主催講演会

テーマ 著作権の最新動向

期 日 平成28年2月29日(月) 10:00-12:00

会 場 明治大学中央図書館 B1 多目的ホール

3 出版

1) 大学図書館協力ニュース

Vol.36 No.1~6 発行

2) 大学図書館研究

No.101、102、103 刊行

#### 4 国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) への派遣

##### 1) ICOLC 2015 年秋季会合

期 日 平成 27 年 10 月 4 日 (日) ~ 10 月 7 日 (水)

場 所 オスロ (ノルウェー)

派遣者 塩出 郁 (大阪大学) 西脇亜由子 (明治大学)

##### 2) ICOLC 2016 年春季会合

期 日 平成 28 年 4 月 17 日 (日) ~ 4 月 20 日 (水)

場 所 ロサンゼルス (アメリカ合衆国)

派遣者 長坂 和茂 (京都大学) 矢野 恵子 (明治大学)

## II 主要事項

### II-1 国公立大学図書館協力委員会関係

#### 1 国公立大学図書館協力委員会運営要綱の改正について

特定の事項を機動的に調査するため、協力委員会の下に、時限的な組織である「タスクフォース」を置くことができる旨の規定を設けることが承認された。

#### 2 ISO プロトコル変更に対する NACSIS-ILL の対応について

- ・各協 (議) 会からの回答が、いずれも、システム的な変更は行わないとする「これからの学術情報システム構築検討委員会」の検討結果を承認するものであったことを踏まえ、エージェント方式を含めて今後の動向を踏まえつつ検討を行う「国際 ILL 検討タスクフォース」を設置することが第 78 回国公立大学図書館協力委員会で承認された。
- ・平成 28 年 2 月、当該タスクフォースより、北米との ILL についての調査、分析に基づく検討結果をまとめた報告資料『2014 年度に北米から日本に依頼された資料に関する分析』が提出された。タスクフォースでは、引き続きエージェント方式の導入可能性等の課題検討を進める予定である。

#### 3 Web サイト構築タスクフォース関係

- ・『大学図書館研究』と『大学図書館協力ニュース』のオープンアクセス化を契機として、協力委員会の Web サイトを構築するにあたり、仕様の策定や運用体制の検討等を行うため、「Web サイト構築タスクフォース」を設置することが第 78 回国公立大学図書館協力委員会で承認された。また、当該タスクフォースの設置期間は 1 年間とし、各協 (議) 会や専門委員会等による Web サイトへの記事投稿が可能になった後、その後継として新たな専門委員会 (広報委員会 (仮称)) を置くことが確認された。
- ・当該タスクフォースと学術文献普及会との打合せの結果、「大学図書館協力ニュース」、「大学図書館研究」いずれも平成 29 年 3 月で刊行を終了すること、及び「相互協力便覧・追録」については平成 29 年 4 月以降も刊行を継続することが確認された。
- ・国公立大学図書館協力委員会 Web サイトは、平成 28 年 4 月以降に試験運用開始が予定されている。

#### 4 協力委員会の収支について

『大学図書館研究』及び『大学図書館協力ニュース』のオープンアクセス化後は、両者の収益分担金の収入が見込めなくなることを踏まえ意見交換を行い、収入確保の方法として、各協（議）会からの分担金を増額する方向で引き続き検討を進めることが確認された。

#### 5 研修のあり方に関するワーキンググループ関係

平成 27 年 12 月に当該ワーキンググループより提出された最終報告書について、今後の研修の企画等において参考にされるべき内容であるので、各協（議）会及び各会員館に周知し、研修や人材育成、各協（議）会の研修企画等に生かしていくこととされた。

#### 6 SCOAP<sup>3</sup>フェーズ 2（2017 年・2019 年）への対応について

- ・SCOAP<sup>3</sup>フェーズ 2 に関する大学図書館としての情報共有や意思決定は、大学図書館側に適切な会議体等が存在しないため、当面、常任幹事館担当者打ち合わせにおいて行っていくこととされた。
- ・平成 28 年 7 月に開催予定の大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議において、当該会議の下に、フェーズ 2 への対応を協議する時限的な組織として、「フェーズ 2 タスクフォース」（仮称）の設置を提案する予定である。

### II-2 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議関係

#### 1 リポジトリ推進協会の設立について

機関リポジトリ推進委員会の下に設置された「機関リポジトリ新協議会（仮称）設立準備会」の検討結果に基づき、機関リポジトリを通じた大学の知の発信システムの構築を推進し、コミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的として、「リポジトリ推進協会」を設立することが承認された。平成 28 年 4 月から参加募集を開始し、7 月下旬に設立総会を実施、平成 29 年度からは会費徴収を開始予定である。

#### 2 今後の NACSIS-CAT/ILL に関する検討について

これからの学術情報システム構築検討委員会における検討結果を踏まえ、『NACSIS-CAT の再構築について（案）』及び『NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（基本方針）（案）』を作成した。これらについて、平成 28 年 4 月に大学図書館等参加館に通知するとともに、意見招請を行なう予定である。

### II-3 機関リポジトリ推進委員会関係

#### 1 第 7 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 27 年 1 月 26 日（月）

会 場 国立情報学研究所

#### 2 第 8 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 27 年 5 月 15 日（金）

会 場 国立情報学研究所

#### 3 第 9 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 27 年 10 月 30 日 (金)

会 場 東京大学附属図書館

4 第 10 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 28 年 2 月 12 日 (月)

会 場 国立情報学研究所

II-4 これからの学術情報システム構築検討委員会関係

1 第 10 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 27 年 3 月 13 日 (金)

会 場 学術総合センター

2 第 11 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 27 年 5 月 14 日 (木)

会 場 学術総合センター

3 第 12 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 27 年 10 月 19 日 (月)

会 場 国立情報学研究所

4 第 13 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 28 年 1 月 28 日 (木)

会 場 国立情報学研究所

II-5 国立国会図書館関係

1 第 21 回国立国会図書館と大学図書館との連絡会関係

1) 協力委員会の最近の活動について

2) 国際 ILL のフレームワークの再検討について

国際 ILL 検討タスクフォースで調査したところ、米国からの依頼資料の殆どが国会図書館の蔵書で対応できることが判明し、今後、国会図書館の重要性は増していくので、必要に応じて米国との協議に加わっていただきたいと要望した。

3) 国会図書館未所蔵資料のデジタル化成果物の収集について

第 41 回文化審議会著作権分科会における著作権法の解釈明確化を踏まえた報告があった。

2 平成 27 年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

1) 活動報告

大塚奈奈絵氏 (国立国会図書館総務部司書監)

「国立国会図書館の一年の動き及び大学図書館との連絡会活動報告」

2) テーマ報告

① 田中久徳氏 (国立国会図書館電子情報部長)

「国立国会図書館のデジタル資料—収集、保存、提供の取組—」

② 赤木完爾氏 (慶應義塾大学メディアセンター所長)

「デジタル資料に図書館はどう向き合うか」